

写真で見つるおかの今昔

鶴岡の風物や人々の暮らしについて、昔の写真と今の姿を比較しながら、その歴史をひもときます。

第9回 江戸時代から続く商人のまち

山王商店街



▲大正期の荒町（山王日枝神社前から）



▲現在



▲大正14・15年頃の荒町（木村屋前から）



▲現在

内川に架かる大泉橋と山王日枝神社の間にある山王商店街。この辺りは、町名が今の山王町に変わる昭和四十年まで「荒町」と言われてきました。慶長八年（一六〇三）、庄内が最上氏の領地となった頃にできた町で、江戸時代は鶴ヶ岡城下最北端の町人町として、庄内藩の御用商人らが店を構えました。

荒町は早くから「市日」が定められ、九・十九・二十九日と、九のつく日には市が立ち、商人の町として次第に発展していきます。明治に入っても、江戸時代から続いた町の構造に大きな変化はなく、多くの商店が並んでいました。

大正十三年の羽越線開通後は鶴岡駅への交通量も増え、洋品小間物店の草分けの紅繁商店、東京銀座の木村屋総本店から屋号を許された木村屋、パン菓子店などが軒を連ねます。商店街は鶴岡の商業活動の中心だったのです。

昭和四十年代以降、自動車の普及や郊外への大型店の進出など、かつての繁栄に陰りが見えたこともありましたが、平成六年に始まった「山王ナイトバザール」や八月に行われる「おいや祭り」は、たくさんの人々にぎわいます。

江戸時代、市が立った日の荒町の姿は、きつとそのような様相だったのではないかと思います。

■問合せ 本所総務課 ☎25・2111
11内線317

編集・発行／鶴岡市総務部総務課

鶴岡市役所 本所	〒997-8601	山形県鶴岡市馬場町9-25 ☎0235-25-2111 FAX0235-24-9071 tsuruoka@city.tsuruoka.lg.jp http://www.city.tsuruoka.lg.jp https://www.facebook.com/tsuruokacity
	(メールアドレス) (ホームページ) (フェイスブックページ) (窓口受付時間)	月曜～金曜日(祝日・年末年始除く) 午前8時30分～午後5時15分
藤島庁舎	〒999-7696	市内藤島字笹花25 ☎64-2111
羽黒庁舎	〒997-0192	市内羽黒町荒川字前田元89 ☎62-2111
櫛引庁舎	〒997-0346	市内上山添字文栄100 ☎57-2111
朝日庁舎	〒997-0492	市内下名川字落合1 ☎53-2111
温海庁舎	〒999-7205	市内温海戊577-1 ☎43-2111

→メールはこちらから



→ホームページはこちらから



《人口と世帯》(平成29年4月30日現在)
住民基本台帳人口合計：129,231人
(男：61,654人、女：67,577人)
世帯数：48,704世帯